

担い手不在集落への地元企業による農業参入

～ 深谷地区（農地耕作条件改善事業）における取組事例 ～

地区概要



地区概要（農地耕作条件改善事業 深谷地区（1～3期）R4～R6）

本地区は日向市東郷町にあり、北側を坪谷川が流れ、西側に牧水公園がある地域に位置している。

昭和57年に県営ほ場整備事業坪谷川地区（全体面積136ha 標準区画70m×30m）が実施されており、本地区はその一部にあたる。

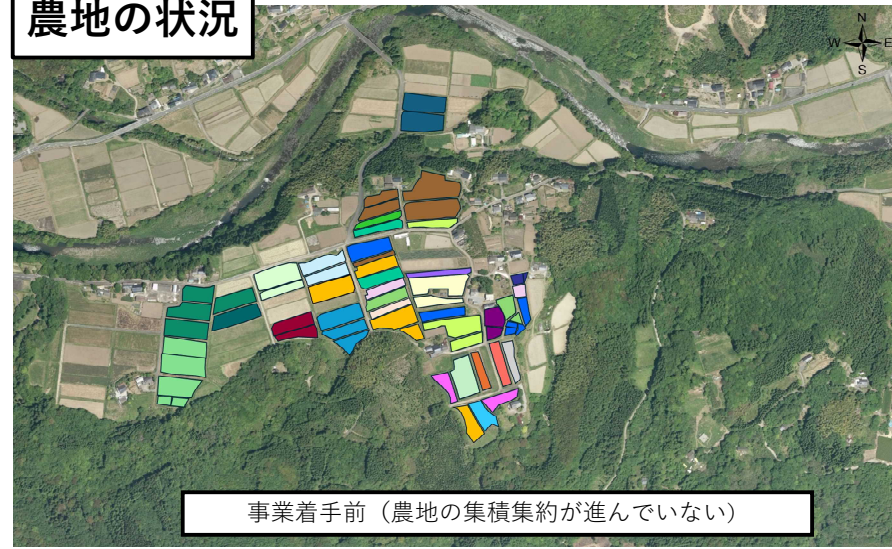
事業実施前は水稲中心の営農を行っていたが、農家の高齢化や鳥獣被害により耕作放棄地化が進んでいた。本事業により、耕作放棄地の解消及び鳥獣害対策を行うと共に農地集約化、畦畔除去による区画拡大を行い、効率的な生産基盤の整備を進めている。

営農状況



事業着手前（耕作放棄地化が進んでいる）

農地の状況



事業着手前（農地の集積集約が進んでいない）

地区名	深谷1期地区
総事業費	9,000千円
受益面積	2.0ha
工期	R4
事業内容	畦畔除去 A=2.0ha 排水改良 A=2.0ha 鳥獣侵入防止柵 L=0.4km
地区名	深谷2期地区
総事業費	19,000千円
受益面積	3.9ha
工期	R5
事業内容	畦畔除去 A=3.9ha 排水改良 A=3.3ha 鳥獣侵入防止柵 L=1.2km
地区名	深谷3期地区
総事業費	21,500千円
受益面積	2.7ha
工期	R6予定
事業内容	畦畔除去 A=2.7ha 排水改良 A=2.7ha 鳥獣侵入防止柵 L=0.7km

検討過程

企業参入の背景

株式会社内山建設

「**企業活動を通じて地域に物心ともに豊かにする**」の理念のもと、新規事業として農業参入を検討。

品目の検討

日向市特産の「**へべす**」が生産者の高齢化等により産地が衰退している現状を知るとともに、「へべす」の魅力に惹かれる。

県も相談を受け提案

農業法人の設立

事業立ち上げの目処が立ち、農業法人「**株式会社ひむか農園**」を設立。

ほ場の選定

(**西川内地区**)



県、日向市、JA日向協力のもと候補地を探し始め、地元のへべす生産者から西川内地区のほ場を紹介される。

西川内地区では富高の郷いきいき営農組合が中心となり農地の維持を行っていたが、農業者の高齢化などにより担い手不足が進行しており、組合役員の地権者訪問など調整した結果、法人の受入れを決定。

企業参入のポイント

JA生産部会や地元営農組合の協力

事業活用による基盤整備

・新規雇用・定植支援

(**西川内地区**)

- ・農地中間管理事業により約2haを集積 (R1)
- ・「地域と創る」新たな農業参入雇用創出事業 (県単) による簡易基盤整備・新規雇用を支援 (R1)
- ・果樹経営支援対策事業を活用し、約1,500本の苗を定植 (R3)
- ・普及センター、JA日向、先輩農家から営農開始に向けた技術的支援を受ける



西川内地区

更なる規模拡大を目指して

(**深谷地区**)

・知り合いに深谷地区出身の地権者がいたことから、人脈や信頼関係で参入。

・担い手不足で遊休農地化が進んでいたが、中間管理事業にて農地集積・集約を進めるとともに、R4年度より宮崎県農業振興公社が事業実施主体となり、農地耕作条件改善事業を活用し耕作放棄地の解消、畦畔除去による区画拡大を進めている。

整備状況（深谷地区）



整備前



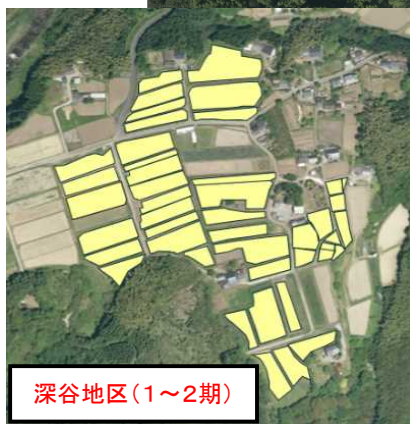
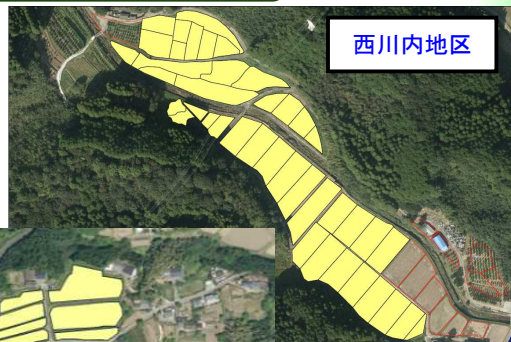
整備後



畦畔除去 施工状況

今後の取り組み

集積・集約化されたほ場



(株)ひむか農園



へべすの更なる規模拡大、生産量増加

目標：10.5ha

計画生産量：250t

※R6より農地耕作条件改善事業

深谷3期地区に着手予定



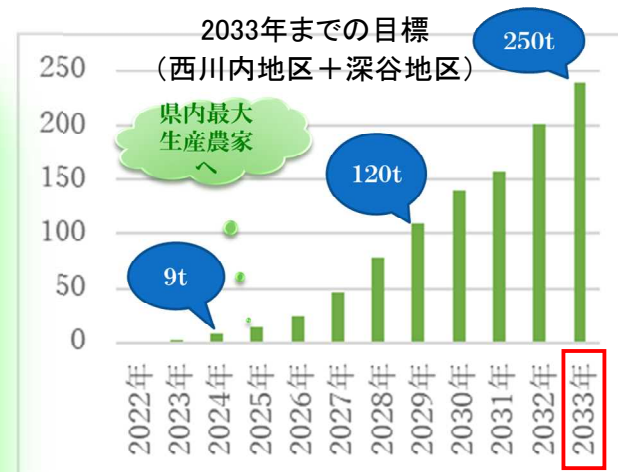
へべす果汁を利用したシロップ、醤油、
ポン酢等の加工品の開発による
商品のバラエティ化



研磨、洗浄、除草作業等の機械化による
省力化生産体制の確立



全国、ひいては世界に「へべす」の魅力
を発信し、産地として日向市が注目され
れば、まちづくりにも繋がる



加工品の開発
(シロップ、醤油)



植樹祭 (深谷地区)